

平成30年度 保護者による教育評価 意見のまとめ ~PTA用~

※表記や表現については、趣旨を変えない程度に一部簡略化しています。

※番号はアンケートの設問に対応しています。

よさ、向上、改善の提案

学校について

- 1・学校でお友達が何かできなかった事や苦労していたことがあっても、「できなかったけど頑張っていたんだよ」「少しだけでもできていたよ」とポジティブな視点で話してくれます。クラスも温かい雰囲気なのかなと安心しています。
- 1・友だちを誘って遊ぶのが苦手だが、なかよしグループで遊ぶ時間を使って普段遊ばない違う学年の子と遊べるようになってきた。
- 2・参観日など気さくに声をかけてくれる子どもたちにふれあうと、土岐小学校の子どもたちはよい子ばかりだと感じます。
- 2・こちらから挨拶すればきちんとできる子もいるけど、全然しない子もいる。しない子に限り何度か声掛けしてみるけど全然返事なし。ちゃんとできるようにしたほうが良いと思う。
→生活委員会のキャンペーンもあり校内での挨拶が増えています。PTA あいさつ運動の日以外にも地域で声をかけていただいて校外でも挨拶できる子を育てていきたいです。
- 3・運動会を半日にし、子どもの安全（第一）の取組がよい。
- 4・学校へ行くと、大きな声で授業をしているのが聞こえてきます。参観日では仲間の意見に付け足しなどの発言があり、話を聞いているからこそその発表がありました。
- 5・個別懇談にて学校での様子を詳しく聞いて、意外な一面を知ることができました。回数を増やすのは難しいと思いますが、このような子供の様子を知る機会が増えたら親としてはうれしい限りです。また、先生と子どもだけの2者懇のような機会もあったらいいなと感じております。
→子どもの良さを直接伝えたいと考え、2学期に懇談を行っています。また、様子が変わった子や「心のアンケート」(いじめ調査)を6月11月3月ごろ実施して気になる児童に対して、個別に面談しています。
- 5・楽しく学校に通っている様子は家でも伝わってくるのですが、男子の特性が学校での出来事を細かくは話してくれません。学年通信・学級通信をととても楽しみに読ませていただいています。
- 5・親や地域の人々は、どんな先生方がおられるのかわかりません。学校報などで、全教師の紹介(教育に対する思い)を一年通してしていただけると地域にも開かれた学校になるのではと思いました。夏休み etc に地域だけでなく通学路もごみ拾いができると、親も通学路沿いの方々や様子が見え、感謝や注意点がわかるのではないのでしょうか。(親子の行事として)授業参観後集団下校などでも。
→広報ふれあいについてはPTA 教養部で企画・編集して作成しています。次年度の活動内容や人数について、PTAの役員会・教養部・財政部・支部長会等で検討して進めていきます。
- 6・社会見学や福祉体験などで、地域を学ぶ機会がたくさんあり、地域を知ることができ、とても良い経験になっている。芋煮会で地域の人との交流がよかった。

学校安全について

- 7・今年の夏の猛暑への対応、下校時の天候、悪化による引き取りなど、子どもの命を第一に考えてくださり、大変感謝しております。天候悪化時等、学校からの連絡がとても早く対策が取りやすいためありがたいです。
- 8・先生たちの見えないところでコソコソやっている。いじめはそのようなものだけれど、家で教えてくれること多数あり。わが子は口うるさく聞くため、隠さず話すので安心しています。「〇〇さんが〇〇さんのこといじめてたよ」と教えてくれることもあるので心配になります。わが子には被害者にも加害者にもなってほしくないの口うるさく言っています。
→「心のアンケート」で自分だけでなく周りにつらい思いをしている子がいなか聞いたり、個別に話を聞いたりすることを継続していきます。
- 8・子ども同士のけんかで、話の内容をよく聞かずに指導があったと聞きました。いけないことをしたときは叱っていただいて構いませんが、まずは子どもの話を聞いていただいたほうが良いのでは。
→指導の状況を確認しました。子どもの話を聞くことが大切だと再認識しました。毎日、校長をはじめ全職員で子どもの様子を見えています。気になる点がありましたらいつでもご連絡ください。

- 8・分団では6年生は下級生をしっかりさせないと、と思うので、ちゃんと指導してくれている。しかし、聞き入れない子が多い。そのため、親の私たちの指導もしている。なかなか聞かない子もいる。6年生は遠慮して言わないので、私たちがいる前で言わせるようにしている。
- 集合場所で挨拶したり、分団の様子を見ながら登下校のときに付き添って歩いたりする方がいます。学校外でも地域の大人が子どもを守り育てる土岐町のすばらしさ。感謝の思いを伝えられる子どもにしていきたいです。

今年度改善したこと

- 9・今回の講習は非常によいきっかけになっていると思います。子どもとの会話の中でも、家族間のルールや方向性を語る際、よい指針となっています。低学年向けにも教えられることがあると思うので、ぜひ取り入れていただきたいです。
- ネット使用の安全については、開催時期や内容等もPTAと連携・調整を図りながら継続して取り組んでいきます。
- 10・校外学習では体験的学習により子どもが生き生きとした学びを得て帰ってきて、一つ体験することにとくましくなってきた感じがします。
- 地域の自然や産業について学ぶ「ふるさと学習」や、福祉体験等の体験活動を大切にしています。自分たちの生活が周りの人に支えられていることに感謝し、自ら働きかける子を皆さんと共に育てていきたいです。

家庭に関するもの

- 11・朝の分団の集合場所でのあいさつはほとんどできていないようです。子ども同士はもちろんですが、近所の方に会っても元気に挨拶ができません。大人から2・3回声をかけるとようやく…という感じで残念です。
- 地域で声をかけてくださりありがとうございます。学校外でも挨拶できる子を家庭と学校とで育てていきたいです。
- 12・家ではご飯の量が増えてきました。正義感が少し強くなってきました。あいさつをしっかりできるといいな。
- 13・ゲームのルールを作っています。ただ、友達との関係で、ゲームの話題もあり、(オンラインゲームの)使い方について悩むことがあります。
- 13・年齢的にも、今、ゲームに夢中になっていて、ついつい時間を過ぎてしまうことがあります。月に数日だけでもテレビやゲームから離れて過ごす日を作ればと思います。学校からも No ゲーム No メディアの日を決めてもらい、宿題とかにしてもらえれば確実に守ってくれるかなと思います。
- 挨拶やネット・メディアの使用についても学校とPTAで連携を図って進めていきます。

素敵な姿

学校生活・分団登下校・なかよし活動・思いやり・あいさつ

- ・分団下校の時に低学年の女子が転んで泣いたので、分団の6年生の一人が女の子のランドセルを持ち、一人が女の子をおんぶし、一人がおんぶしている子のランドセルを持って帰ってきたことがありました。自分たちで考えて行動できたことがとても素晴らしいと思いました。
 - ・地域の方、工事の方などにも、あいさつを自らする姿が多くみられるようになりました。
 - ・登校中に頭を下げて挨拶してくれる班長さん(旗を持つ子)がいます。小さい子に目を配っている様子が見られます。優しい子が多いなと思うことが多いです。
- 子どもの良さを教えてくださりありがとうございます。地域と学校と協力して子どもをほめて育てていきたいです。
- ・学年が違って仲良くできているようで、「なかよしグループ」や「なかよし遊び」などで、ほかの学年のことふれあう時間があるので、とても良いと思います。
 - ・1年に入学し新しい環境に戸惑い泣いていましたが、上級生の子が気にかけてくれたり、休み時間に遊んでくれる6年生がいたりして、笑顔で学校へ行けるようになりました。上級生が下級生を思いやり優しくできる姿を見て、自分たちの学年が上がった時に下級生の子を同じように思いやれるようになってほしいと思います。
- 「なかよしグループ」は1年生から6年生の全学年が入ったメンバーで、昼休みに運動したり遊んだりしています。異学年の仲間とふれあい、思いやりや助け合いの気持ちを育てています。
- ・お友達の良いところや頑張っているところを見つけて言葉にしてほめている姿を見ました。相手の良いところを見つける力、認めてあげる素直な気持ちが素晴らしいと感じました。
- 人権週間だけでなく、日ごろから仲間の良さをを見つけ認めあう時間を大切にしています。

貴重なご意見ありがとうございました。今後の教育活動に生かしていきます。